

「LIFEを活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究」【LIFE登録済事業所票】

■ご記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は自事業所でLIFEを使用したことがある方がご記入ください。
- ・ 特に指定の無い限り、ご回答時点の状況についてご回答ください。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合は「0」とご記入ください。
- ・ 具体的な回答方法については、「実施要領」をご確認ください。
- ・ 令和4年10月7日(金)までにご回答いただき、「調査実施のお願い」に記載の方法でメール送付してください。

■調査に関するお問い合わせ先

「LIFEを活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究」事務局
電話:0120-955-920 (平日 9:30~17:30) ◎お問い合わせの際に、調査名をお伝えください◎
メール:r4-life@surece.co.jp

問1から問11は全ての全ての事業所の方が対象となります。

問1 基本情報

(1) 事業所名					
(2) 事業所番号					
(3) 定員数		人	(4) 利用者数(調査時点)		人

問2 職員体制(属性・人数) ※法人ではなく、事業所内の数を記載してください

	事業所の職員数(常勤換算人数) ※他の事業所と兼務していない職員数	他の事業所と兼務している 職員数(常勤換算人数)
(1) 介護職(介護福祉士除く)		人
(2) 介護福祉士		人
(3) 介護支援専門員		人
(4) 社会福祉士		人
(5) 精神保健福祉士		人
(6) 相談員((3)~(5)以外)		人
(7) 歯科衛生士		人
(8) 管理栄養士		人
(9) 栄養士(管理栄養士除く)		人
(10) 理学療法士		人
(11) 作業療法士		人
(12) 言語聴覚士		人
(13) 看護職員		人
(14) 歯科医師		人
(15) 医師		人
(16) その他の職員		人
その他の内訳()		

問3 使用している介護ソフト

- 使用している介護ソフトを選んでください ※当てはまるもの全てに☑をしてください
(1) ※完全導入とは、事業所における全業務について介護ソフトを利用している場合を指します
※一部導入とは、事業所における一部業務についてのみ介護ソフトを利用している場合を指します

完全導入	一部導入				
☐	☐	①	ほのぼのシリーズ(NDソフトウェア株式会社)		
☐	☐	②	ワイズマンシステムSP(株式会社ワイズマン)		
☐	☐	③	HOPE LifeMark-WINCARE(富士通株式会社)		
☐	☐	④	カイポケ(株式会社エス・エム・エス)		
☐	☐	⑤	楽すけ(ニップクケアサービス株式会社)		
☐	☐	⑥	すこやかサン(株式会社EMシステムズ)		
☐	☐	⑦	CAREKARTE(株式会社ケアコネクトジャパン)		
☐	☐	⑧	ちょうじゅ(株式会社ケアコネクトジャパン)		
☐	☐	⑨	その他	ソフト名	
				会社名	
☐		⑩	介護ソフトは使用していない		

問4 介護ソフト・LIFEへのデータ入力・アクセスに使用している端末・台数

(1) 介護ソフトへの記録に使用している各端末の台数を教えてください
※問3(1)で①から⑨を☑した方がお答えください

PC(パーソナルコンピューター)		台
タブレット端末		台
スマートフォン		台

(2) LIFEへの記録に使用しているPC端末の台数を教えてください

PC		台
----	--	---

問5 LIFEへデータ入力する職員の属性・人数 ※介護ソフトからのcsv連携をしている場合は、介護ソフトを利用する職員を含みます

(1) 介護職(介護福祉士含む)		人	(9) 理学療法士		人
(2) 介護支援専門員		人	(10) 作業療法士		人
(3) 社会福祉士		人	(11) 言語聴覚士		人
(4) 精神保健福祉士		人	(12) 看護職員		人
(5) 相談員((2)～(4)以外)		人	(13) 歯科医師		人
(6) 歯科衛生士		人	(14) 医師		人
(7) 管理栄養士		人	(15) その他		人
(8) 栄養士(管理栄養士除く)		人	その他の内訳()		

問6 LIFEへのデータ登録方法

(1) LIFE登録開始前からPC操作に慣れている職員がいましたか

☐ ① はい

☐ ② いいえ

(2) LIFE登録開始に当たり、PC操作に慣れている職員を新たに雇用しましたか

☐ ① はい

☐ ② いいえ

(3) LIFE登録開始に当たり、事業所内でICTを担当する職員を新たに雇用しましたか

☐ ① はい

☐ ② いいえ

(4) LIFE登録前後での、ICTを担当する職員の配置状況をお聞きます
※専従の職員だけではなく、他の業務と兼務する職員を含みます

☐ ① LIFE登録前から、ICTを担当する職員がいた

☐ ② LIFE登録に当たって、新たにICTを担当する職員を配置した

☐ ③ ICTを担当する職員は配置していない

(5) 2022年6月分のデータとしてLIFEへデータ登録した利用者数をお答えください
※複数の加算を算定している利用者も1人としてカウントしてください

LIFEデータ登録者数		人	
-------------	--	---	--

(6) LIFEへどのようにデータ登録していますか
※当てはまるもの全てに☑をしてください
※インポート機能とは、介護ソフトからcsvファイルを出力し、LIFEにデータ登録する機能のことをいいます

☒ ① インポート機能の利用

☒ ② LIFE上での直接入力

☐ ③ その他 ()

(7) インポート機能の利便性について、どのように感じますか
※問6(6)で「①インポート機能の利用」と選択された方にお聞きます

☐ ① 便利だと思う

☐ ② やや便利だと思う

☐ ③ どちらでもない

☒ ④ やや不便だと思う

☐ ⑤ 不便だと思う

(8) インポート機能について、どのような点が不便だと感じますか
※問6(7)で「④やや不便だと思う」あるいは「⑤不便だと思う」と選択された方にお聞きます
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐ ① インポート機能の使用手順が理解しづらい

☐ ② インポート時にエラーが頻発する

☐ ③ インポート機能を使うより直接入力の方が早い

☐ ④ LIFEにインポートするデータを介護ソフトから出力するのが難しい

☐ ⑤ その他 ()

	(2) LIFEを利用することで、ケアの一連の活動(介護過程の展開)のプロセスの中で役に立った点を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください <table><tr><td>☐</td><td>① LIFEの活用が、職員に対して、利用者の状態の評価や介入について考えることを意識付けるきっかけになった</td></tr><tr><td>☐</td><td>② フィードバック票を用いて、事業所の傾向を把握することができるようになった</td></tr><tr><td>☐</td><td>③ ケアの内容を議論する組織体等を設けた(又は組織体を明確化した)</td></tr><tr><td>☐</td><td>④ ケアの質の向上に関する方針を策定した</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑤ ケアの質の向上に関する方針を事業所内で周知した</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑥ これまで把握していなかった利用者の状態についても、評価するようになった</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑦ LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価方法が統一された</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑧ LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価頻度が向上した</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑨ LIFEを利用した取組を通じて、全利用者の状態の評価を実施するようになった</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑩ LIFEへのデータ提出のための利用者の状態の評価の結果、利用者の問題点・課題がこれまでよりも把握できるようになった</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑪ LIFEに利用者のデータを入力し管理することで、利用者の状態や課題をこれまでよりも把握しやすくなった</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑫ LIFEでデータを一元管理することで、多職種での情報連携がしやすくなった</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑬ LIFEへのデータ提出を通じて、利用者の経時的な状態変化等を分析するようになった(分析する予定)</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑭ ケア計画の見直しにむけた指標(KPI)を設定した</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑮ その他 ()</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑯ 上記のいずれにも当てはまらない</td></tr></table>	☐	① LIFEの活用が、職員に対して、利用者の状態の評価や介入について考えることを意識付けるきっかけになった	☐	② フィードバック票を用いて、事業所の傾向を把握することができるようになった	☐	③ ケアの内容を議論する組織体等を設けた(又は組織体を明確化した)	☐	④ ケアの質の向上に関する方針を策定した	☐	⑤ ケアの質の向上に関する方針を事業所内で周知した	☐	⑥ これまで把握していなかった利用者の状態についても、評価するようになった	☐	⑦ LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価方法が統一された	☐	⑧ LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価頻度が向上した	☐	⑨ LIFEを利用した取組を通じて、全利用者の状態の評価を実施するようになった	☐	⑩ LIFEへのデータ提出のための利用者の状態の評価の結果、利用者の問題点・課題がこれまでよりも把握できるようになった	☐	⑪ LIFEに利用者のデータを入力し管理することで、利用者の状態や課題をこれまでよりも把握しやすくなった	☐	⑫ LIFEでデータを一元管理することで、多職種での情報連携がしやすくなった	☐	⑬ LIFEへのデータ提出を通じて、利用者の経時的な状態変化等を分析するようになった(分析する予定)	☐	⑭ ケア計画の見直しにむけた指標(KPI)を設定した	☐	⑮ その他 ()	☐	⑯ 上記のいずれにも当てはまらない
☐	① LIFEの活用が、職員に対して、利用者の状態の評価や介入について考えることを意識付けるきっかけになった																																
☐	② フィードバック票を用いて、事業所の傾向を把握することができるようになった																																
☐	③ ケアの内容を議論する組織体等を設けた(又は組織体を明確化した)																																
☐	④ ケアの質の向上に関する方針を策定した																																
☐	⑤ ケアの質の向上に関する方針を事業所内で周知した																																
☐	⑥ これまで把握していなかった利用者の状態についても、評価するようになった																																
☐	⑦ LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価方法が統一された																																
☐	⑧ LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価頻度が向上した																																
☐	⑨ LIFEを利用した取組を通じて、全利用者の状態の評価を実施するようになった																																
☐	⑩ LIFEへのデータ提出のための利用者の状態の評価の結果、利用者の問題点・課題がこれまでよりも把握できるようになった																																
☐	⑪ LIFEに利用者のデータを入力し管理することで、利用者の状態や課題をこれまでよりも把握しやすくなった																																
☐	⑫ LIFEでデータを一元管理することで、多職種での情報連携がしやすくなった																																
☐	⑬ LIFEへのデータ提出を通じて、利用者の経時的な状態変化等を分析するようになった(分析する予定)																																
☐	⑭ ケア計画の見直しにむけた指標(KPI)を設定した																																
☐	⑮ その他 ()																																
☐	⑯ 上記のいずれにも当てはまらない																																
問8	LIFEの利用に伴う事業所内での議論の実施状況																																
	(1) LIFEの利用に当たって、新たに開始した取組を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください <table><tr><td>☐</td><td>① 多職種連携(多職種間における日々の情報共有など)</td></tr><tr><td>☐</td><td>② 加算の算定に必要な評価方法に関する職員への研修</td></tr><tr><td>☐</td><td>③ PC等の端末やインターネット環境の整備</td></tr><tr><td>☐</td><td>④ LIFEで収集した情報やフィードバック情報を利用した利用者の目標や提供サービスの見直し・変更</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑤ LIFEで収集した情報やフィードバック情報の利用者・家族への共有</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑥ その他 ()</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑦ 上記のいずれにも当てはまらない</td></tr></table>	☐	① 多職種連携(多職種間における日々の情報共有など)	☐	② 加算の算定に必要な評価方法に関する職員への研修	☐	③ PC等の端末やインターネット環境の整備	☐	④ LIFEで収集した情報やフィードバック情報を利用した利用者の目標や提供サービスの見直し・変更	☐	⑤ LIFEで収集した情報やフィードバック情報の利用者・家族への共有	☐	⑥ その他 ()	☐	⑦ 上記のいずれにも当てはまらない																		
☐	① 多職種連携(多職種間における日々の情報共有など)																																
☐	② 加算の算定に必要な評価方法に関する職員への研修																																
☐	③ PC等の端末やインターネット環境の整備																																
☐	④ LIFEで収集した情報やフィードバック情報を利用した利用者の目標や提供サービスの見直し・変更																																
☐	⑤ LIFEで収集した情報やフィードバック情報の利用者・家族への共有																																
☐	⑥ その他 ()																																
☐	⑦ 上記のいずれにも当てはまらない																																
	(2) 今後、LIFEをどのように多職種連携等の推進に利用できると感じますか 現在行っていないくても、将来的に利用できそうな選択肢にチェックしてください <table><tr><td>☐</td><td>① 多職種間における日々の情報共有</td></tr><tr><td>☐</td><td>② 介護支援専門員との情報共有</td></tr><tr><td>☐</td><td>③ 他職種を含む会議体での情報共有</td></tr><tr><td>☐</td><td>④ その他 ()</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑤ 上記のいずれにも当てはまらない</td></tr></table>	☐	① 多職種間における日々の情報共有	☐	② 介護支援専門員との情報共有	☐	③ 他職種を含む会議体での情報共有	☐	④ その他 ()	☐	⑤ 上記のいずれにも当てはまらない																						
☐	① 多職種間における日々の情報共有																																
☐	② 介護支援専門員との情報共有																																
☐	③ 他職種を含む会議体での情報共有																																
☐	④ その他 ()																																
☐	⑤ 上記のいずれにも当てはまらない																																
	(3) LIFEの利用に伴い、事業所内の委員会等で利用者情報等を議論したことがありますか <table><tr><td>☐</td><td>① 既存の委員会で議論した</td></tr><tr><td>☐</td><td>② 新たに委員会等を設置の上、議論した</td></tr><tr><td>☐</td><td>③ 委員会等の組織体以外で議論した</td></tr><tr><td>☐</td><td>④ その他 ()</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑤ 実施していない</td></tr></table>	☐	① 既存の委員会で議論した	☐	② 新たに委員会等を設置の上、議論した	☐	③ 委員会等の組織体以外で議論した	☐	④ その他 ()	☐	⑤ 実施していない																						
☐	① 既存の委員会で議論した																																
☐	② 新たに委員会等を設置の上、議論した																																
☐	③ 委員会等の組織体以外で議論した																																
☐	④ その他 ()																																
☐	⑤ 実施していない																																
	(4) 議論の場で議論された内容をお答えください ※問8(3)で①、②、③、④のいずれかを選択された方にお聞きます ※当てはまるもの全てに☑をしてください <table><tr><td>☐</td><td>① 利用者の状態の変化</td></tr><tr><td>☐</td><td>② LIFEから出力されたフィードバック内容(全国平均等)</td></tr><tr><td>☐</td><td>③ 利用者の状態等を踏まえた目標設定</td></tr><tr><td>☐</td><td>④ 利用者の状態等を踏まえたケア内容・実施方法等</td></tr><tr><td>☐</td><td>⑤ その他 ()</td></tr></table>	☐	① 利用者の状態の変化	☐	② LIFEから出力されたフィードバック内容(全国平均等)	☐	③ 利用者の状態等を踏まえた目標設定	☐	④ 利用者の状態等を踏まえたケア内容・実施方法等	☐	⑤ その他 ()																						
☐	① 利用者の状態の変化																																
☐	② LIFEから出力されたフィードバック内容(全国平均等)																																
☐	③ 利用者の状態等を踏まえた目標設定																																
☐	④ 利用者の状態等を踏まえたケア内容・実施方法等																																
☐	⑤ その他 ()																																

問9 LIFEの利用によるケアの質の向上に向けた取組の課題

(1) LIFEを利用したケアの質の向上に向けた取組について、課題と覚じることはありますか

① ある

② ない

(2) LIFEを利用したケアの質の向上に向けた取組において、課題と覚じる内容を教えてください
※問9(1)で「①ある」と選択された方にお聞きします
※当てはまるもの全てに☑をしてください

① ケアの質の向上について議論する場(委員会等)がない

② ケアの質の向上に関する方針が事業所内で周知されていない

③ 利用者の状態の評価方法がわからない

④ 利用者の状態の評価の結果を多職種で共有していない

⑤ 既存のケアの質の向上に向けた取組とLIFEを利用した取組の連携ができていない

⑥ フィードバック票が不十分でありPDCAサイクルを回しづらい

⑦ PDCAサイクルを回すのに必要な項目が収集されていない

→必要だと考える項目(

)

⑧ その他 (

)

問10 リハビリテーション・個別機能訓練、栄養管理、口腔管理に係る実施計画書の利用状況

(1) リハビリテーション・個別機能訓練、栄養管理、口腔管理に係る実施計画書を利用していますか

① 利用している

② 利用していない

(2) リハビリテーション・個別機能訓練、栄養管理、口腔管理に係る実施計画書をどのように作成していますか
※問10(1)で「①利用している」と選択された方にお聞きします

① 介護ソフトで作成している

② 紙媒体で作成している

③ 介護ソフトと紙媒体を併用している

問11 取得している加算

(1) 貴事業所でLIFEへのデータ提出等が要件となっている加算の取得を開始したのはいつですか
※最初に算定を開始した加算についてお答ください

年

月

(2) 貴事業所で現在算定している加算を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

	貴事業所で 算定している加算	回答する設問 (クリックすると該当箇所に 移動します。)
科学的介護推進体制加算	☒	科学的介護推進体制加算
個別機能訓練加算(Ⅱ)	☒	個別機能訓練加算(Ⅱ)
ADL維持等加算(Ⅰ)	☒	ADL維持等加算(Ⅰ)
ADL維持等加算(Ⅱ)	☒	ADL維持等加算(Ⅱ)
リハビリテーションマネジメント計画書情報加算	☒	リハビリテーションマネジメント計画書 情報加算
リハビリテーションマネジメント加算(A)□	☒	リハビリテーションマネジメント加算 (A)
リハビリテーションマネジメント加算(B)□	☒	リハビリテーションマネジメント加算 (B)
理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算	☒	理学療法、作業療法及び言語聴覚 療法に係る加算
褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)	☒	褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)
褥瘡マネジメント加算(Ⅱ)	☒	褥瘡マネジメント加算(Ⅱ)
褥瘡対策指導管理(Ⅱ)	☒	褥瘡対策指導管理(Ⅱ)
排せつ支援加算(Ⅰ)	☒	排せつ支援加算(Ⅰ)
排せつ支援加算(Ⅱ)	☒	排せつ支援加算(Ⅱ)
排せつ支援加算(Ⅲ)	☒	排せつ支援加算(Ⅲ)
自立支援促進加算	☒	自立支援促進加算
かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅱ)	☒	かかりつけ医連携薬剤調整加算 (Ⅱ)
かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅲ)	☒	かかりつけ医連携薬剤調整加算 (Ⅲ)
薬剤管理指導の注2の加算	☒	薬剤管理指導の注2の加算
栄養マネジメント強化加算	☒	栄養マネジメント強化加算
栄養アセスメント加算	☒	栄養アセスメント加算
口腔衛生管理加算(Ⅱ)	☒	口腔衛生管理加算(Ⅱ)
口腔機能向上加算(Ⅱ)	☒	口腔機能向上加算(Ⅱ)

以降の設問は、問11で現在取得していると回答した加算についてのみご回答してください。

科学的介護推進体制加算

問12 加算に関する取組の状況

(1) 本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐	①	利用者ごとのADLの評価
☐	②	利用者ごとの栄養状態の評価
☐	③	利用者ごとの口腔機能の評価
☐	④	利用者ごとの認知症の状態の評価
☐	⑤	利用者ごとの疾病状況の把握
☐	⑥	利用者ごとの服薬情報の把握
☐	⑦	ADL評価の頻度向上
☐	⑧	栄養状態評価の頻度向上
☐	⑨	口腔機能評価の頻度向上
☐	⑩	認知症の状態評価の頻度向上
☐	⑪	疾病状況把握の頻度向上
☐	⑫	服薬情報把握の頻度向上
☐	⑬	その他 ()
☐	⑭	新たに開始した取組はない

問13 利用者の状態の評価

(1) 本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。
(LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)

本加算を算定している利用者数		人		
利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間		分

(2) 本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください

☐	①	1か月に1回以上
☐	②	2か月に1回程度
☐	③	3か月に1回程度
☐	④	6か月に1回程度

問14 LIFEの利用に当たっての課題

(1) LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐	①	ADLの評価方法がわかりにくい
☐	②	栄養状態の評価方法がわかりにくい
☐	③	口腔機能の評価方法がわかりにくい
☐	④	認知症の状況の評価方法がわかりにくい
☐	⑤	疾病状況を正確に把握することが難しい
☐	⑥	服薬情報を正確に把握することが難しい
☐	⑦	疾病状況の入力に手間がかかる
☐	⑧	服薬情報の入力に手間がかかる
☐	⑨	ADLの評価に手間がかかる
☐	⑩	栄養状態の評価に手間がかかる
☐	⑪	口腔機能の評価に手間がかかる
☐	⑫	認知症の状況の評価に手間がかかる
☐	⑬	疾病状況の評価に手間がかかる
☐	⑭	服薬情報の評価に手間がかかる
☐	⑮	加算・評価方法に関する職員への研修ができていない
☐	⑯	収集した情報を利用したサービス計画や提供サービスの見直しが難しい
☐	⑰	その他 ()
☐	⑱	感じている課題は特にない

個別機能訓練加算(Ⅱ)

問12 配置している職員の職種

(1) 本加算を取得するために、配置している職員の属性を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐

① 理学療法士

☐

② 作業療法士

☐

③ 言語聴覚士

☐

④ 看護職員

☐

⑤ 柔道整復師

☐

⑥ あん摩マッサージ指圧師

☐

⑦ 鍼灸師

問13 利用者の状態の評価

(1) 本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。
(LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)

本加算を算定している利用者数

人

利用者1人当たりの状態の評価に要する時間

時間

分

(2) 本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください

☐

① 2週間に1回以上

☐

② 1か月に1回程度

☐

③ 2か月に1回程度

☐

④ 3か月に1回程度

問14 LIFEの利用に当たっての課題

(1) LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐ ① 個別機能訓練加算(Ⅰ)の算定要件を満たすのが難しい

☐ ② 収集した情報を利用したサービス計画や提供サービスの見直しが難しい

☐ ③ その他 ()

☐ ④ 感じている課題は特にない

ADL維持等加算(Ⅰ)・(Ⅱ)

問12 ADLを測定している職種

(1) 本加算取得のために、ADLを測定している職員の属性を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐

① 医師

☐

② 理学療法士

☐

③ 作業療法士

☐

④ 言語聴覚士

☐

⑤ 看護職員

☐

⑥ 介護職員

☐

⑦ その他の職種 ()

問13 利用者の状態の評価

(1) 本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。
(LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)

本加算を算定している利用者数

人

利用者1人当たりの状態の評価に要する時間

時間

分

(2) 本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください

☐

① 1か月に1回以上

☐

② 2か月に1回程度

☐

③ 3か月に1回程度

☐

④ 6か月に1回程度

問14 LIFEの利用に当たっての課題

(1) LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐ ① 利用者の状態の評価方法がわかりにくい

☐ ② 利用者の状態の評価に手間がかかる

☐ ③ より適切な評価指標がある

☐	→具体的な指標名()
☐	④ その他 ()
☐	⑤ 感じている課題は特にな

リハビリテーションマネジメント計画書情報加算・リハビリテーションマネジメント加算(A)□(B)□・理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算

問12 利用者の状態の評価

(1)

本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。
(LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)
※貴事業所で算定している加算についてご回答ください

① リハビリテーションマネジメント計画書情報加算

本加算を算定している利用者数		人		
利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間		分

② リハビリテーションマネジメント加算(A)□

本加算を算定している利用者数		人		
利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間		分

③ リハビリテーションマネジメント加算(B)□

本加算を算定している利用者数		人		
利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間		分

④ 理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算

本加算を算定している利用者数		人		
利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間		分

(2)

本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください

☐	① 1か月に1回以上
☐	② 2か月に1回程度
☐	③ 3か月に1回程度

問13 LIFEの利用に当たっての課題

(1)

LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐	① リハビリテーションマネジメント加算(A)イ(B)イの算定要件を満たすのが難しい
☐	② 収集した情報を利用したサービス計画や提供サービスの見直しが難しい
☐	③ その他 ()
☐	④ 感じている課題は特にな

褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)(Ⅱ)・褥瘡対策指導加算(Ⅱ)

問12 加算に関する取組の状況

(1)

本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐

① 褥瘡の危険因子の評価

☐

② 褥瘡の状態の評価

☐

③ 褥瘡の危険因子の評価の頻度向上

☐

④ 褥瘡の状態の評価の頻度向上

☐

⑤ その他 ()

☐

⑥ 新たに開始した取組はない

(2)

褥瘡ケア計画の策定に参加している職員の属性を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐

① 医師

☐

② 看護職員

☐

③ 理学療法士

☐

④ 作業療法士

☐

⑤ 言語聴覚士

☐

⑥ 管理栄養士

☐

⑦ 栄養士(管理栄養士除く)

☐

⑧ 介護職員

☐

⑨ その他の職種 ()

(3)

貴事業所内で、褥瘡マネジメントに関する職員向けマニュアルを整備していますか

☐

① 整備している

☐

② 整備していない

(4)

貴事業所内で、褥瘡マネジメントに関して参考になっているガイドラインがあれば教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐

① 褥瘡予防・管理ガイドライン(日本褥瘡学会)

☐

② 科学的根拠に基づく褥瘡局所治療ガイドライン(日本褥瘡学会)

☐

③ 褥瘡診療ガイドライン(日本皮膚科学会)

☐

④ 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン(日本皮膚科学会)

☐

⑤ その他 ()

☐

⑥ 特にない

問13 利用者の状態の評価

(1)

本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。
(LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)

利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間		分
褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)を算定している利用者数		人		
褥瘡マネジメント加算(Ⅱ)を算定している利用者数		人		
褥瘡対策指導加算(Ⅱ)を算定している利用者数		人		

(2)

本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください

☐

① 1週間に1回以上

☐

② 2週間に1回程度

☐

③ 1か月に1回程度

☐

④ 2か月に1回程度

☐

⑤ 3か月に1回程度

問14 LIFEの利用に当たっての課題

(1)

LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐

① 褥瘡の危険因子の評価方法がわかりにくい

☐

② 褥瘡の状態の評価方法がわかりにくい

☐

③ 褥瘡の危険因子の評価に手間がかかる

☐

④ 褥瘡の状態の評価に手間がかかる

☐

⑤ より適切な評価指標がある
→具体的な指標名()

☐

⑥ 褥瘡発生を防ぐ管理・予防措置が困難(褥瘡マネジメント加算(Ⅱ)・褥瘡対策指導管理(Ⅱ)の算定が難しい

☐

⑦ その他 ()

☐

⑧ 感じている課題は特にない

排せつ支援加算(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)

問12 加算に関する取組の状況

- (1) 排せつ支援計画の作成に参加している職員の属性を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐	① 医師
☐	② 看護職員
☐	③ 理学療法士
☐	④ 作業療法士
☐	⑤ 介護支援専門員
☐	⑥ その他の職種（ ）

問13 利用者の状態の評価

- (1) 本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。
(LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)
※貴事業所で算定している加算についてご回答ください

利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間		分
排せつ支援加算(Ⅰ)を算定している利用者数		人		
排せつ支援加算(Ⅱ)を算定している利用者数		人		
排せつ支援加算(Ⅲ)を算定している利用者数		人		

- (2) 本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください

○	① 1か月に1回以上
○	② 2か月に1回程度
○	③ 3か月に1回程度
○	④ 6か月に1回程度

問14 LIFEの利用に当たっての課題

- (1) LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐	① 排せつの状態の評価方法がわかりにくい
☐	② 排せつの状態の評価に手間がかかる
☐	③ より適切な評価指標がある →具体的な指標名()
☐	④ 排せつの状態の維持・改善につながる適切な対応が難しい(排せつ支援加算(Ⅱ)(Ⅲ)の算定が難しい)
☐	⑤ その他 ()
☐	⑥ 感じている課題は特にない

自立支援促進加算

問12 加算に関する取組の状況

- (1) 本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組
(すでに実施していたが見直しを行った取組を含む)を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐	① 尊厳の保持を踏まえたケアの提供
☐	② 本人を尊重する個別ケアの実践
☐	③ 寝たきり防止に係る取組
☐	④ 自立生活の支援
☐	⑤ 入所者に対する離床・基本動作やADL動作、日々の過ごし方等、訓練時間についての評価
☐	⑥ 多職種共同による自立支援に係る支援計画の策定
☐	⑦ その他 ()
☐	⑧ 新たに開始した取組はない

問13 実施している特別な支援

- (1) 本加算について、貴事業所で実施している支援を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐	① 廃用性機能障害を防ぐための離床、座位保持又は立ち上がりの支援
☐	② 食事について、個人の習慣や希望を尊重した支援
☐	③ 排せつリズムの考慮、プライバシーを配慮したトイレの使用
☐	④ 個人の習慣や希望を尊重した入浴の支援(一般浴槽での入浴、入浴回数やケアの方法など)
☐	⑤ 自宅での生活と同様の暮らしを続けられるような生活全般の支援
☐	⑥ リハビリテーション及び機能訓練について、入所者本人や家族の希望を踏まえた施設サービス計画の見直し

問14 利用者の状態の評価

- (1) 本加算を算定している利用者数を教えてください

本加算を算定している利用者数		人
----------------	--	---

- (2) 本加算に関する利用者の状態の評価頻度を教えてください

☐	① 2週間に1回以上
☐	② 1か月に1回程度
☐	③ 2か月に1回程度
☐	④ 3か月に1回程度

問15 LIFEの利用に当たっての課題

- (1) LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください
※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐	① 離床・基本動作やADL動作、日々の過ごし方等、訓練時間についての評価方法がわかりにくい
☐	② 離床・基本動作やADL動作、日々の過ごし方等、訓練時間についての評価に手間がかかる
☐	③ どのような支援計画を目指せばよいかわかりにくい
☐	④ その他 ()
☐	⑤ 感じている課題は特にない

かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅱ)(Ⅲ)・薬剤管理指導

問12 加算に関する取組の状況

(1)	本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください	
	☐	① 現在の服薬内容や薬剤の変更・減薬・減量の評価の頻度向上
	☐	② 服薬内容や薬剤の変更・減薬・減量の評価への薬剤師の関与の頻度向上
	☐	③ 既往歴・発症年月日の管理
	☐	④ その他 ()
	☐	⑤ 新たに開始した取組はない
(2)	貴事業所内で、本加算に関する評価や薬剤の変更に当たり、参考に行っている文書やガイドラインがあれば教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください	
	☐	① 高齢者の医薬品適正使用の指針(総論編)
	☐	② 高齢者の医薬品適正使用の指針(各論編(療養環境別))
	☐	③ 日本老年医学会の関連ガイドライン(高齢者の安全な薬物療法ガイドライン)
	☐	④ その他 ()
	☐	

問13 利用者の状態の評価

(1) 本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください	
○	① 1か月に1回以上
○	② 2か月に1回程度
○	③ 3か月に1回程度

問14 LIFEの利用に当たっての課題

(1) LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください
 ※当てはまるもの全てに☑をしてください

☐	① 既往歴・処方内容の把握に手間がかかる
☐	② 入力方法がわかりにくい
☐	③ その他 ()
☐	④ 感じている課題は特にない

栄養マネジメント強化加算					
問12 加算に関する取組の状況					
	(1)	本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください			
		☐	①	管理栄養士の増員	
		☐	②	栄養士の増員	
		☐	③	食事の観察(ミールラウンド)の頻度向上	
		☐	④	退所時の食事相談や栄養情報連携の実施	
		☐	⑤	利用者の低栄養状態リスクや食生活状況等の評価の頻度向上	
		☐	⑥	その他 ()	
		☐	⑦	新たに開始した取組はない	
	問13 利用者の状態の評価				
	(1)	本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。 (LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)			
		本加算を算定している利用者数			人
		利用者1人当たりの状態の評価に要する時間			分
	(2)	本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください			
		☐	①	低栄養状態のリスクに応じて頻度を設定	
		☐	②	2週間に1回以上	
		☐	③	1か月に1回程度	
		☐	④	2か月に1回程度	
		☐	⑤	3か月に1回程度	
	問14 LIFEの利用に当たっての課題				
	(1)	LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください			
		☐	①	低栄養リスクレベルについての評価方法がわかりにくい	
		☐	②	食生活状況についての評価方法がわかりにくい	
		☐	③	低栄養リスクレベルの評価に手間がかかる	
		☐	④	食生活状況についての評価に手間がかかる	
		☐	⑤	より適切な評価指標がある →具体的な指標名()	
		☐	⑥	加算・評価方法に関する職員への研修ができていない	
		☐	⑦	収集した情報を利用した計画やケアの見直しが難しい	
		☐	⑧	その他 ()	
		☐	⑨	感じている課題は特にない	

栄養アセスメント加算				
問12 加算に関する取組の状況				
	(1)	本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください		
		☐	①	管理栄養士の配置(外部との連携含む)
		☐	②	利用者の低栄養状態リスクや食生活状況等の評価
		☐	③	利用者の低栄養状態リスクや食生活状況等の評価の頻度向上
		☐	④	その他 ()
		☐	⑤	新たに開始した取組はない
問13 利用者の状態の評価				
	(1)	本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。 (LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)		
		本加算を算定している利用者数		人
		利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		分
		(2) 本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください		
		☐	①	2週間に1回以上
		☐	②	1か月に1回程度
☐	③	2か月に1回程度		
☐	④	3か月に1回程度		
問14 LIFEの利用に当たっての課題				
	(1)	LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください		
		☐	①	低栄養リスクレベルについての評価方法がわかりにくい
		☐	②	食生活状況についての評価方法がわかりにくい
		☐	③	低栄養リスクレベルの評価に手間がかかる
		☐	④	食生活状況についての評価に手間がかかる
		☐	⑤	より適切な評価指標がある →具体的な指標名()
		☐	⑥	加算・評価方法に関する職員への研修ができていない
		☐	⑦	その他 ()
		☐	⑧	感じている課題は特にない

口腔衛生管理加算(Ⅱ)				
問12 加算に関する取組の状況				
	(1)	本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください		
		☐	①	歯科衛生士が実施した口腔衛生等の管理及び介護職員への技術的助言
		☐	②	歯科衛生士が実施した口腔衛生等の管理及び介護職員への技術的助言の頻度向上
		☐	③	歯科医師・歯科衛生士の増員
		☐	④	その他 ()
		☐	⑤	新たに開始した取組はない
問13 利用者の状態の評価				
	(1)	本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。 (LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)		
		本加算を算定している利用者数		人
		利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		分
		(2) 本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください		
		☐	①	1か月に1回以上
		☐	②	2か月に1回程度
☐	③	3か月に1回程度		
問14 LIFEの利用に当たっての課題				
	(1)	LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください		
		☐	①	口腔衛生状態に関する問題点についての評価方法がわかりにくい
		☐	②	口腔衛生状態に関する問題点の評価に手間がかかる
		☐	③	より適切な評価指標・管理方法がある →具体的な指標名()

	☐	④ その他（		）
	☐	⑤ 感じている課題は特にない		

口腔機能向上加算(Ⅱ)					
問12 加算に関する取組の状況					
	(1)	本加算に関連する取組で、貴事業所で加算算定に当たり新たに開始した取組を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください			
		☐	① 口腔機能に関する問題点の把握(スクリーニング)		
		☐	② 口腔機能向上に関する実施目標や実施内容の管理(アセスメント)		
		☐	③ 口腔機能に関する問題点の把握(スクリーニング)の頻度向上		
		☐	④ 口腔機能のアセスメントの頻度向上		
		☐	⑤ その他 ()		
		☐	⑥ 新たに開始した取組はない		
問13 利用者の状態の評価					
	(1)	本加算を算定している利用者数と、利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要する時間を教えてください。 (LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)			
		本加算を算定している利用者数		人	
		利用者1人当たりの状態の評価に要する時間		時間	分
	(2)	本加算に関する利用者の状態の評価の頻度を教えてください			
		☐	① 1か月に1回以上		
		☐	② 2か月に1回程度		
		☐	③ 3か月に1回程度		
問14 LIFEの利用に当たっての課題					
	(1)	LIFEの利用に当たって、感じている課題を教えてください ※当てはまるもの全てに☑をしてください			
		☐	① 口腔機能に関する問題点についての評価方法がわかりにくい		
		☐	② 口腔機能に関する問題点の評価に手間がかかる		
		☐	③ より適切な評価指標・管理方法がある →具体的な指標名()		
		☐	④ その他 ()		
		☐	⑤ 感じている課題は特にない		

調査票への回答は以上です。ご協力ありがとうございました。

「LIFEを活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究」【LIFE未登録事業所票】

■ご記入にあたってのご注意

- ・ この調査票は事業所の管理者の方がご記入ください。
- ・ 特に指定の無い限り、ご回答時点の状況についてご回答ください。
- ・ 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合は「0」とご記入ください。
- ・ 具体的な回答方法については、「実施要領」をご確認ください。
- ・ 令和4年10月7日(金)までにご回答いただき、「調査実施のお願い」に記載の方法でアップロードしてください。

■調査に関するお問い合わせ先

「LIFEを活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究」事務局

電話:0120-955-920 (平日 9:30~17:30)

◎お問い合わせの際に、調査名をお伝えください◎

メール:r4-life@surece.co.jp

問1 基本情報

(1) 事業所名			
(2) 事業所番号			
(3) 定員数		人	(4) 利用者数(調査時点)
			人

問2 職員体制(属性・人数) ※法人ではなく、事業所内の数を記載してください

	事業所の職員数(常勤換算人数) ※他の事業所と兼務していない職員数	他の事業所と兼務している 職員数(常勤換算人数)
(1) 介護職(介護福祉士除く)	人	人
(2) 介護福祉士	人	人
(3) 介護支援専門員	人	人
(4) 社会福祉士	人	人
(5) 精神保健福祉士	人	人
(6) 相談員((3)~(5)以外)	人	人
(7) 歯科衛生士	人	人
(8) 管理栄養士	人	人
(9) 栄養士(管理栄養士除く)	人	人
(10) 理学療法士	人	人
(11) 作業療法士	人	人
(12) 言語聴覚士	人	人
(13) 看護職員	人	人
(14) 歯科医師	人	人
(15) 医師	人	人
(16) その他の職員	人	人
その他の内訳()		

問3 使用している介護ソフトの会社

- 使用している介護ソフトの会社を選んでください ※当てはまるもの全てに☑
 (1) ※完全導入とは、事業所における全業務について介護ソフトを利用している場合を指します
 ※一部導入とは、事業所における一部業務についてのみ介護ソフトを利用している場合を指します

完全導入	一部導入	
☐	☐	① ほのぼのシリーズ(NDソフトウェア株式会社)
☐	☐	② ワイズマンシステムSP(株式会社ワイズマン)
☐	☐	③ HOPE LifeMark-WINCARE(富士通株式会社)
☐	☐	④ カイポケ(株式会社エス・エム・エス)
☐	☐	⑤ 楽すけ(ニップクケアサービス株式会社)
☐	☐	⑥ すこやかサン(株式会社EMシステムズ)
☐	☐	⑦ CAREKARTE(株式会社ケアコネクトジャパン)
☐	☐	⑧ ちょうじゅ(株式会社ケアコネクトジャパン)
☐	☐	⑨ その他
		ソフト名
		会社名
☐		⑩ 介護ソフトは使用していない

- (2) 使用している介護ソフトはLIFEに対応していますか

☐	① 完全に対応している
☐	② 一部対応している
☐	③ 全く対応していない
☐	④ わからない

問4 これまでの利用者及び自事業所に関するデータ分析内容

- (1) 日常的に利用者の状態を指標を用いて評価していますか

☐	① 評価している
☐	② 評価していない

- 評価している内容を教えてください
 (2) ※問4(1)で「①評価している」と選択された方にお聞きします
 ※当てはまるもの全てに☑

☐	① 利用者のADL(日常生活動作、食事・移乗・歩行・更衣・排泄・トイレ動作等)
☐	② 利用者のIADL(手段的ADL、洗濯・掃除・買物・外出・趣味・公共機関の利用等)
☐	③ 利用者の認知機能
☐	④ 利用者の認知症の行動・心理症状(BPSD)
☐	⑤ 利用者の意欲
☐	⑥ 利用者の栄養状態
☐	⑦ 利用者の口腔・嚥下機能
☐	⑧ 利用者の褥瘡の状態
☐	⑨ 利用者の日中の活動(離床時間/外出回数/居室以外における滞在時間)
☐	⑩ 利用者の服薬状況
☐	⑪ その他)

- (3) 評価した内容を多職種で議論したことはありますか
 ※問4(1)で「①評価している」と選択された方にお聞きします

☐	① 定期的に議論している
☐	② 不定期だが議論したことがある
☐	③ 議論したことはない

問5 これまでの利用者もしくは家族への介護状態のフィードバック状況

(1) 状態を評価した結果や利用者の介護状態の推移等を利用者あるいはその家族に説明したことはありますか

- ☐ ① ある
- ☐ ② ない

(2) 実施頻度を教えてください
※問5(1)で「①ある」と選択された方にお聞きます

- ☐ ① 現在、定期的に実施している → 年()回程度
- ☐ ② 現在、不定期に実施している
- ☐ ③ 過去に、定期的に実施していた
- ☐ ④ 過去に、不定期に実施していた
- ☐ ⑤ その他 ()

(3) 説明対象者を教えてください
※問5(1)で「①ある」と選択された方にお聞きます
※当てはまるもの全てに☑

- ☐ ① 利用者本人
- ☐ ② 利用者の家族
- ☐ ③ その他 ()

(4) 説明している内容を教えてください
※問5(1)で「①ある」と選択された方にお聞きます
※当てはまるもの全てに☑

- ☐ ① ADL(日常生活動作、食事・移乗・歩行・更衣・排泄・トイレ動作等)
- ☐ ② IADL(手段的ADL、洗濯・掃除・買物・外出・趣味・公共機関の利用等)
- ☐ ③ 認知機能
- ☐ ④ 認知症の行動・心理症状(BPSD)
- ☐ ⑤ 栄養状態
- ☐ ⑥ 口腔・嚥下機能
- ☐ ⑦ その他 ()

問6 ケアの質の向上に向けたPDCAサイクルの取組

(1) ケアの質の向上に向けたPDCAサイクルの取組において、貴事業所で実施していることを教えてください
※当てはまるもの全てに☑

- ☐ ① ケアの結果を議論する組織体等を設置している
- ☐ ② ケアの質の向上に関する方針を策定している
- ☐ ③ ケアの質の向上に関する方針を事業所内で周知している
- ☐ ④ ケアの質の向上に関する必要な文書を作成している
- ☐ ⑤ ケアプランの定期的なモニタリングや内容の見直しを実施している
- ☐ ⑥ 事業所内で利用者の状態の評価方法を統一している
- ☐ ⑦ 利用者の状態の評価頻度を統一している
- ☐ ⑧ 全利用者の状態の評価を実施している
- ☐ ⑨ 利用者の状態の評価の結果から利用者の問題点・課題を明らかにしている
- ☐ ⑩ 利用者の状態の評価の結果を多職種で情報連携し、評価に基づいて議論している
- ☐ ⑪ 利用者の経時的な状態変化等を分析するようになった(分析する予定)
- ☐ ⑫ ケア計画の見直しにむけた指標(KPI)を設定した
- ☐ ⑬ その他 ()

(2) ケアの質の向上に向けたPDCAサイクルの取組において、課題と感ずることはありますか

- ☐ ① ある
- ☐ ② ない

- ケアの質の向上に向けたPDCAサイクルの取組において、課題と感じる内容を教えてください
 ※問6(2)で「①ある」と選択された方にお聞きます
 ※当てはまるもの全てに☑

☐	① ケアの質の向上について議論する場(委員会等)がない
☐	② ケアの質の向上に関する方針が事業所内で周知されていない
☐	③ 利用者の状態の評価方法がわからない
☐	④ 利用者の問題点や課題を十分に把握できていない
☐	⑤ 利用者の経時的な状態変化を把握できていない
☐	⑥ 利用者の状態の評価結果を多職種で共有していない
☐	⑦ 利用者の状態の評価をケアの質の向上に活かしていない
☐	⑧ その他

問7 LIFEの今後の利用意向

- (1) LIFEの今後の利用意向を教えてください

☐	① 利用したい(アカウント申請済み)
☐	② 利用したい(アカウント申請予定)
☐	③ 利用したいと思わない

- LIFEを利用していない理由を教えてください
 ※問7(1)で②もしくは③とご回答した方にお聞きます。
 ※当てはまるもの全てに☑

☐	① 利用申請の方法など、LIFEを利用するまでの手順がわからない
☐	② LIFEやLIFEに関連した加算についてよく知らない
☐	③ LIFEや加算の意義を理解できないから
☐	④ LIFEに関連する加算を算定する予定がない
☐	⑤ LIFEに登録する項目のうち、これまで評価・把握していなかった項目が多い
☐	⑥ データ連携が可能な介護ソフトを導入していない
☐	⑦ データを入力する職員の負担が大きい
☐	⑧ 利用者の状態の評価方法が分からない
☐	⑨ 利用者の状態の評価をする職員の負担が大きい
☐	⑩ 具体的な入力項目やフィードバックされる内容を知らない
☐	⑪ 魅力的なフィードバック機能がない
☐	⑫ 利用者や家族の同意が得られない
☐	⑬ 加算の単位数が少ないと感じる
☐	⑭ LIFEや加算に関する職員への研修ができない
☐	⑮ 法人としてLIFEを利用しない判断をしている
☐	⑯ 特に理由はない
☐	⑰ その他

調査票への回答は以上です。ご協力ありがとうございました。

**「LIFEを活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所における
LIFEの活用可能性の検証に関する調査研究」[モデル事業調査票]**

■ご記入にあたってのご注意

- ・この調査票はフィードバック票をご覧になり、現場で活用いただいた方等がご記入ください。
- ・フィードバック票活用前は令和4年7月1日時点、活用後は令和4年12月1日時点の状況についてご回答ください
- ・選択肢のあるものは、プルダウンメニューから○を選び、選択肢に○をつけてください。
(記載がある場合のみ、複数回答可(桃色で着色されています))
- ・数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合は「0」とご記入ください。
- ・令和4年〇月〇日(〇)までに調査専用サイトにアップロードしてください。

■調査に関するお問い合わせ先

「LIFEを活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に
関する調査研究」事務局 ◎お問い合わせの際に、調査名をお伝えください◎

電話 : 0120-000-000 (平日 9:30~17:30) Email :

問1 基本情報

(1) 事業所名			
(2) 事業所番号			
(3) 利用者数(介護保険分)		人	
(4) 利用者数(医療保険分)	※訪問看護のみ回答、(3)で計上した利用者は含まない		人

問2 職員体制(属性・人数) ※法人ではなく、事業所内の数を記載してください

	事業所の職員数(常勤換算人数) ※他の事業所と兼務していない職員数		他の事業所と兼務している 職員数(常勤換算人数)	
(1) 介護職(介護福祉士除く)		人		人
(2) 介護福祉士		人		人
(3) 介護支援専門員		人		人
(4) 社会福祉士		人		人
(5) 精神保健福祉士		人		人
(6) 相談員((3)~(5)以外)		人		人
(7) 歯科衛生士		人		人
(8) 管理栄養士		人		人
(9) 栄養士(管理栄養士除く)		人		人
(10) 理学療法士		人		人
(11) 作業療法士		人		人
(12) 言語聴覚士		人		人
(13) 看護職員		人		人
(14) 歯科医師		人		人
(15) 医師		人		人
(16) その他		人		人
その他の内訳()				

問3 介護支援専門員の基本情報 ※問3は居宅介護支援事業所のみ

(1) 事業所の管理者		1 該当		2 非該当		
(2) 介護支援専門員としての 業務経験年数		年		か月		
(3) 担当件数 (要支援1・2は介護予防支援業 務の委託を受けている人数)	居宅介護		件			
	介護予防		件			
(4) 勤務形態		1 常勤専従		2 常勤兼務		
		3 非常勤専従		4 非常勤兼務		
(5) 主任介護支援専門員資格		1 あり		2 なし		
(6) その他の保有資格 (当てはまるもの全てに○)		1 医師		2 歯科医師		3 薬剤師
		4 保健師		5 助産師		6 看護師
		7 准看護師		8 理学療法士		9 作業療法士
		10 社会福祉士		11 介護福祉士		12 視能訓練士
		13 義肢装具士		14 歯科衛生士		15 言語聴覚士
		16 あん摩マッサージ指圧師		17 はり師		18 管理栄養士
		19 柔道整復師		20 精神保健福祉士		
		21 栄養士		22 介護福祉士養成のための実務者研修(旧ホームヘルパー1級)		
		23 介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)				
		24 旧ホームヘルパー3級				
	25		26 その他			
(7) 年齢	歳(整数でご回答ください)					

問4 サービスの提供内容					
(1)法人が提供しているサービス(関連法人・系列法人を含む)として該当するもの全てに○を付けてください。 (2)貴事業所に併設されているサービスとして該当するもの全てに○を付けてください。 ※「併設されているサービス」とは、貴事業所と同一敷地内もしくは隣接する敷地内の事業所において提供されているサービスのことを言います。					
提供主体		提供主体			
(1)	(2)				
法人	併設	(1)	(2)	法人	併設
		<居宅サービス>		<施設サービス>	
		1		20	介護老人福祉施設
		2		21	介護老人保健施設
		3		22	介護療養型医療施設
		4		23	介護医療院
		5		<医療サービス>	
		6		24	病院
		7		25	診療所(在宅療養支援診療所)
		8		26	診療所(在宅療養支援診療所以外)
		9		<その他>	
		10		27	居宅介護支援
		<地域密着型サービス>		28	サービス付き高齢者向け住宅
		11		29	有料老人ホーム
		12		(介護付き有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム)	
		13		30	養護老人ホーム、軽費老人ホーム
		14		(ケアハウスA、B)	
		15		31	旧高齢者専用賃貸住宅
		16		32	地域包括支援センター
		17		(在宅介護支援センター)	
		18		33	調剤薬局
		19		34	特になし

問5 LIFEの認知度		
(1) 本調査の実施前からLIFEを知っていましたか		
	① 知っていた	
	② 知らなかった	
(2) LIFEを知った経緯を教えてください(当てはまるもの全てに○) ※問5(1)で「①知っていた」と選択された方にお聞きします		
	① 行政(厚生労働省・自治体)	
	② 居宅サービス事業所	
	③ 介護支援専門員(事業所内)	
	④ 介護支援専門員(事業所外)	
	⑤ 職能団体等	
	⑥ その他の事業所	
	⑦ 民間のホームページ、雑誌等	
	⑧ その他()	
(3) 同じ法人が経営する別のサービスにおいてLIFEを利用(データの提出や加算の算定など)していますか ※問5(1)で「①知っていた」と選択された方にお聞きします		
	① 利用している	→全利用者のうち 割程度
	② 利用していない	
	③ 分からない	

問6 通常時の利用者の状態の評価の実施状況	
※令和4年7月1日時点における状況としてご回答ください	
※訪問系サービスのみ回答してください	
(1) 利用者の状態に関する評価の実施頻度を教えてください	
☐	① 定期的に実施している → 年()回程度
☐	② 不定期に実施している
☐	③ 実施していない(その理由:)
☐	④ その他 ()
(2) 状態の評価の対象としている利用者を教えてください	
☐	① 担当している利用者全員
☐	② 担当している利用者のうち、必要な利用者のみ→ 全利用者のうち 割程度
☐	③ その他 ()
(3) 利用者の状態の評価の実施体制を教えてください	
☐	① 利用者に訪問している職員(訪問介護員・訪問看護師等)が評価をしている
☐	② 事業所の他の職員(訪問介護員・訪問看護師等)または管理者が評価をしている
☐	③ 居宅介護支援事業所から評価の結果を受領している
☐	④ 居宅介護支援事業所以外の他事業所等から評価の結果を受領している
☐	⑤ 評価の実施・結果の受領はしていない
☐	⑥ その他 ()
(4) 利用者の状態の評価方法を教えてください ※利用者1人以上に実施している項目全てに○	
☐	① 評価基準に基づき評価(ADL評価、褥瘡の評価等)
☐	② 利用者の普段の状況等を踏まえて評価
☐	③ 利用者・家族との面談で情報収集して評価
☐	④ その他 ()
(5) 利用者の状態の評価項目の中で、下記のうち該当する項目を教えてください ※利用者1人以上に実施している項目全てに○ ※何らかの形で利用者の状態の評価を実施している方のみご回答ください	
☐	① ADL(日常生活動作、食事・移乗・歩行・更衣・排泄・トイレ動作等)
☐	② IADL(手段的ADL、洗濯・掃除・買物・外出・趣味・公共機関の利用等)
☐	③ 認知機能
☐	④ 認知症の行動・心理症状(BPSD)
☐	⑤ 意欲
☐	⑥ 栄養状態
☐	⑦ 口腔・嚥下機能
☐	⑧ 褥瘡
☐	⑨ 排泄
☐	⑩ 日中の活動(離床時間/外出回数/居室以外における滞在時間)
☐	⑪ 服薬の状況
☐	⑫ その他 ()

問7	これまでの利用者及び自事業所に関するデータ分析内容 ※令和4年7月1日時点における状況としてご回答ください ※問6(1)で③を選択した場合は回答不要です		
	(1) 日常的に利用者の状態を指標を用いて評価していますか		
	☐	① 評価している	
	☐	② 評価していない	
	(2) 評価している内容を教えてください ※当てはまるもの全てに○ ※問7(1)で「①評価している」と選択された方にお聞きます		
	☐	① ADL(日常生活動作、食事・移乗・歩行・更衣・排泄・トイレ動作等)	
	☐	② IADL(手段的ADL、洗濯・掃除・買物・外出・趣味・公共機関の利用等)	
	☐	③ 認知機能	
	☐	④ 認知症の行動・心理症状(BPSD)	
	☐	⑤ 栄養状態	
☐	⑥ 口腔・嚥下機能		
☐	⑦ その他 ()		
(3) 評価した内容を多職種で議論したことはありますか ※問7(1)で「①評価している」と選択された方にお聞きます			
☐	① 定期的に議論している		
☐	② 不定期だが議論したことがある		
☐	③ 議論したことはない		

問8	通常時の利用者へのデータ分析の結果の活用状況 ※令和4年7月1日時点における状況としてご回答ください ※問6(1)で③を選択した場合は回答不要です。		
	(1) 状態を評価した結果を利用者あるいはその家族に説明したことはありますか		
	☐	① ある	
	☐	② ない(その理由:)	
	(2) 実施頻度を教えてください ※問8(1)で「①ある」と選択された方にお聞きます		
	☐	① 現在、定期的に実施している → 年()回程度	
	☐	② 現在、不定期に実施している	
	☐	③ 過去に、定期的に実施していた	
	☐	④ 過去に、不定期に実施していた	
	☐	⑤ その他 ()	
	(3) 説明する対象者を教えてください ※当てはまるもの全てに○ ※問8(1)で「①ある」と選択された方にお聞きます		
	☐	① 利用者本人	→全利用者のうち 割程度
	☐	② 利用者の家族	→全利用者のうち 割程度
	☐	③ その他 ()	
	(4) 説明している内容を教えてください ※当てはまるもの全てに○ ※問8(1)で「①ある」と選択された方にお聞きます		
	☐	① ADL(日常生活動作、食事・移乗・歩行・更衣・排泄・トイレ動作等)	
☐	② IADL(手段的ADL、洗濯・掃除・買物・外出・趣味・公共機関の利用等)		
☐	③ 認知機能		
☐	④ 認知症の行動・心理症状(BPSD)		
☐	⑤ 栄養状態		
☐	⑥ 口腔・嚥下機能		
☐	⑦ その他 ()		

問9 LIFE項目を利用者ごとに評価する際の課題						
(1) 評価するにあたりどのような課題がありましたか ※①～⑪それぞれについて、当てはまる課題1つに○						
		特に問題なく評価できた	評価をしたことがなく調べる必要があった	評価方法を理解するのが難しかった	どの評価結果にするか判断に迷った	評価するために非常に時間がかかった(利用者1人あたりにかかる時間)
①	ADL(Barthel Index)					
②	ADL・IADL(Barthel Index以外)					
③	認知機能・行動心理症状(DBD13)					
④	認知機能・行動心理症状(DBD13以外)					
⑤	意欲(Vitality Index)					
⑥	栄養状態					
⑦	口腔・嚥下機能					
⑧	褥瘡					
⑨	日中の活動					
⑩	排泄					
⑪	服薬					

問10 フィードバック票の活用(自事業所分)	
※自事業所が入力したデータに基づき作成されたフィードバック票についてご回答ください	
(1) 事業所のフィードバック票の結果に基づき、訪問看護計画・訪問介護計画・ケアプランが妥当かどうか検討しましたか	
☐	① 事業所内で検討した
☐	② サービス担当者会議等で他の事業所とともに検討した
☐	③ 会議体以外で他の事業所とともに検討した
☐	④ 検討しなかった
(2) 検討した結果について教えてください ※問10(1)で「①事業所内で検討した」、又は「②サービス担当者会議で他の事業所とともに検討した」、又は「③会議体以外で他の事業所とともに検討した」と選択された方にお聞きます	
☐	① 妥当であることが確認できた
☐	② 訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランを見直す必要性を感じた
(3) 実際に見直しを実施しましたか ※問10(2)で「②訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランを見直す必要性を感じた」と選択された方にお聞きます	
☐	① 実施した
☐	② 実施しなかった
(4) 訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランの見直しを実施しなかった理由を教えてください ※問10(3)で「④検討しなかった」と選択された方にお聞きます ※当てはまるもの全てに○	
☐	① どのように見直せばよいか分からなかったから
☐	② 利用者の意向にそぐわなかったから
☐	③ 再検討するための人員や時間が不足しているから
☐	④ その他()

- | | |
|--|-------------------------|
| | ① フィードバック票の見方がわからなかったから |
| | ② 検討するための人員や時間が不足しているから |
| | ③ その他() |

- | |
|--|
| |
|--|

※他事業所が入力したデータに基づき作成されたフィードバック票についてご回答ください

- | | |
|--|----------------------|
| | ① 提供された |
| | ② どの利用者についても提供されなかった |

(2) 他事業所のフィードバック票を見て把握できた項目を教えてください(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|---|---|
| ① | 他事業所でどのような項目の評価が実施されているかの把握 |
| ② | 自事業所では把握できなかった評価項目の把握 |
| ③ | 自事業所と他事業所の両方で評価のある項目について、どの程度一致しているかの把握 |
| ④ | 他事業所の強みの把握 |
| ⑤ | 他事業所の弱みの把握 |
| ⑥ | その他（ ） |

- | | 自事業所では評価
できなかった | 他事業所では評価
されていなかった | 評価結果が有意に
異なっていた | 評価結果は同程度
であった |
|-----------------------------|--------------------|----------------------|--------------------|------------------|
| ① ADL(Barthel Index) | | | | |
| ② ADL・IADL(Barthel Index以外) | | | | |
| ③ 認知機能・行動心理症状(DBD13) | | | | |
| ④ 認知機能・行動心理症状(DBD13以外) | | | | |
| ⑤ 意欲(Vitality Index) | | | | |
| ⑥ 栄養状態 | | | | |
| ⑦ 口腔・嚥下機能 | | | | |
| ⑧ 褥瘡 | | | | |
| ⑨ 日中の活動 | | | | |
| ⑩ 排泄 | | | | |
| ⑪ 服薬 | | | | |

	(4) 他事業所のフィードバック票を活用し、訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランが妥当かどうか検討しましたか	
	☐	① 事業所内で検討した
	☐	② サービス担当者会議等で他の事業所とともに検討した
	☐	③ 会議体以外で他の事業所とともに検討した
	☐	④ 検討しなかった
	(5) 検討した結果について教えてください ※問11(4)で「①事業所内で検討した」、又は「②サービス担当者会議で他の事業所とともに検討した」、又は「③会議体以外で他の事業所とともに検討した」と選択された方にお聞きます	
	☐	① 妥当であることが確認できた
	☐	② 訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランを見直す必要性を感じた
	(6) 実際に見直しを実施しましたか ※問11(5)で「②訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランを見直す必要性を感じた」と選択された方にお聞きます	
	☐	① 実施した
	☐	② 実施しなかった
	(7) 訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランの見直しを実施しなかった理由を教えてください ※問11(6)で「④実施しなかった」と選択された方にお聞きます ※当てはまるもの全てに○	
	☐	① どのように見直せばよいか分からなかったから
	☐	② 利用者の意向にそぐわなかったから
	☐	③ 再検討するための人員や時間が不足しているから
	☐	④ その他()
(8) 訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランが妥当かどうかについて、検討をしなかった理由を教えてください ※問11(4)で「④検討しなかった」と選択された方にお聞きます ※当てはまるもの全てに○		
☐	① フィードバック票の見方がわからなかったから	
☐	② 他事業所のフィードバック票の結果を信頼してよいか分からなかったから	
☐	③ 再検討するための人員や時間が不足しているから	
☐	④ その他()	

問12 LIFEの利用、LIFE項目の評価に要した時間

	(1) LIFEの初期設定(インストールや管理職員・操作職員の登録等、初回のみ実施が必要な作業)に要した時間を教えてください	
		分
	(2) 利用者1人当たり、LIFEへの入力に必要な状態の評価に要した時間を教えてください (LIFEに入力する時間や介護ソフトに記録する時間は含みません)	
		分
	(3) 利用者1人あたりの入力に要した時間を教えてください(介護記録ソフトへの入力時間も含む)	
		分
	(4) 利用者1人あたりのフィードバック票の読み取りに要した時間を教えてください	
		分

問13 LIFEの利用状況

(1) LIFEを利用することで、ケアの一連の活動(介護過程・看護過程の展開)のプロセスの中で役に立つと思われる点を教えてください

※当てはまるもの全てに○

☐	① フィードバック票を用いて事業所の傾向を把握できる
☐	② ケアの内容を議論する組織体等の設置(又は組織体を明確化)
☐	③ ケアの質の向上に関する方針の策定
☐	④ ケアの質の向上に関する方針の事業所内周知
☐	⑤ これまで把握していなかった利用者の状況についての評価するようになる
☐	⑥ LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価方法の統一される
☐	⑦ LIFEを利用した取組を通じて、利用者の状態の評価頻度が上がる
☐	⑧ LIFEを利用した取組を通じて、全利用者の状態の評価を実施するようになる
☐	⑨ LIFEへのデータ提出のために利用者の状態の評価を行った結果、利用者の問題点・課題が明確になる
☐	⑩ LIFEに利用者のデータを入力し管理することで利用者の状態・課題を把握しやすくなる
☐	⑪ LIFEでデータを一元管理することで多職種で情報連携しやすくなる
☐	⑫ 利用者の経時的な状態変化等を分析するようになる
☐	⑬ 訪問介護計画・訪問看護計画・ケアプランの再検討にむけた指標(KPI)の設定
☐	⑭ その他 ()

(2) LIFEの他の様式で利用してみたいシートはどれですか

☐	① 基本項目
☐	② 興味関心チェック
☐	③ 生活機能チェック
☐	④ 個別機能訓練計画
☐	⑤ ADL維持等加算
☐	⑥ 褥瘡マネジメント
☐	⑦ 排せつ支援
☐	⑧ 自立支援促進
☐	⑨ 薬剤変更
☐	⑩ 栄養摂食嚥下
☐	⑪ 口腔衛生管理記録
☐	⑫ 口腔機能アセス
☐	⑬ 特にない

問14 LIFE全体としての介護の質に及ぼす影響

(1) LIFE全体として、LIFEの利用が介護の質の向上に寄与すると感じますか

☐	① 思う
☐	② やや思う
☐	③ どちらでもない
☐	④ あまり思わない
☐	⑤ 思わない

(2) 上記の理由を教えてください

(3) 全体を通して、LIFEに対して感じる課題やご要望(フィードバック票への希望など)があればご自由にお書きください

調査票への回答は以上です。ご協力ありがとうございました。